

もくじ

1 年頭のごあいさつ	加古川商工会議所 会頭 釜谷 和明
2 新年ごあいさつ	加古川市長 岡田 康裕
3 目次	
4 特集	「年男・年女に聞く～今年の抱負～」
8 会議所のうごき	東はりま再発見「絵と写真展」を開催 他
10 団体だより	青年部・加古川市環境保全研究会・女性会
13 会議所からのお知らせ	「年末調整のお手伝い」他
15 エッセイ	「一期一会」 有限会社 関工建設コンサルタント 代表取締役 松尾 琢磨 さん
17 所報サービス	快進撃企業に学べ 「世界一社風の良い会社を目指すISOWA」
19 謹賀新年名刺広告	
24 会議所カレンダー	「今月の“こんな日”」



今月の表紙
『(一財)農村文化協会(みとろ荘)』

事業所データ

- ◆代表者
代表理事 こうけつしげき
瀬瀬 茂樹
- ◆所在地
加古川市上荘町見土呂375
- ◆電話
079-428-2004
- ◆ホームページ
<http://www.mitoro.co.jp/mitoroso.htm>
- ◆表紙写真
①露天風呂と美味しい料理でほっこり癒しの時をお過ごしください(左から4人目が瀬瀬氏、右隣が飛鳥氏)
②眼下に広がる景色を楽しめる展望風呂
③ナノスチームで体の芯まで温まる洞窟風呂
④名物「かわら焼き」が味わえる会席料理
⑤お肉の苦手な方にはそばもあります

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>

地元を愛され続ける温泉旅館

上荘町の田園地帯を見下ろす高台に佇むみとろ荘。「源泉は冷泉ですが、自然の力で地表まで湧き出る、自噴」と呼ばれるもので、百年以上の昔からここにあったものを、露天風呂として引き込みました。今も敷地内で変わらず湧き出ていますよ」と話すのは、当時、前会長とともに温泉風呂の無かった加古川に温泉施設を作ろうと、左官の技術を活かしてお手製の露天風呂を作り上げた飛鳥日出丸さん。現在は、みとろ荘を管理する(一財)農村文化協会の理事として、代表理事の瀬瀬茂樹さんとともに施設運営に携わっています。

瀬瀬さんは「施設の維持は大変ですが、飛鳥さんが今も壁の塗替えや風呂場の改装などに腕をふるってくれています。従業員も笑顔が絶やせず、アットホームな雰囲気にしてきています」と、加古川唯一の温泉旅館を支える従業員の奮闘に目を細めます。

湯気立ちのぼる中で眼下に広がる景色を見ながら、至福の時を過ごさせる展望風呂、その他にも洞窟風呂・寝湯・ミストサウナと、様々に楽しめるお風呂を自当てるに午前中から来店する常連客もいて、昼食を挟みながらのんびりと時を過ごしているそうです。

食事に定評のある当館の名物は「かわら焼き」。これは、露天風呂を作った時の瓦をヒントにできた料理で、瓦のカーブを利用してほどよく脂が落ち、香ばしく焼けた牛肉は絶品。これをメインとした会席料理はランチや法事・宴会などで人気のメニューとなっています。また、月・木曜日には巻き寿司のテイクアウト販売もしていて、毎年、節分には多くの予約注文が入る、こちらも人気メニューの一つです。

しかし、当館もコロナ禍の影響を大きく受けほとんどの宴会がキャンセルとなりました。瀬瀬さんは「この地で五十年以上、温泉旅館として地域とともに歩んできました。地元の方からは応援の声もいただいています。近郊に入浴施設が増え更にコロナ、と目の前に立ちはだける問題は大きいですが、加古川市の温泉旅館はうちだけです。都会の洗練されたおもてなしはできませんが、真心を込めた丁寧な対応を心掛けています。これからも地元の人に愛される温泉旅館として一歩一歩、歩んでいきたいと思っています」なかなか遠出もできない今、近くの温泉でほっと一息ついてみませんか。